



最近の報道発表 (平成30年10月24日～平成30年11月23日)

<総務課>

30.11.3	平成30年秋の叙勲（消防関係）	平成30年秋の叙勲（消防関係）受章者は617名で、勲章別内訳は次のとおりです。 瑞宝小綬章 40名 旭日双光章 3名 瑞宝双光章 61名 瑞宝単光章 513名 計 617名
30.11.2	平成30年秋の褒章（消防関係）	平成30年秋の褒章（消防関係）受章者は101名で、褒章別内訳は次のとおりです。 紅綬褒章 2名 黄綬褒章 7名 藍綬褒章 92名 計 101名
30.10.25	「消防防災科学技術研究推進制度」平成31年度研究開発課題の募集	「消防防災科学技術研究推進制度」は、消防防災行政に係る課題解決や重要施策推進のための研究開発を委託する競争的資金制度です。 平成31年度は、近年の自然災害の増加や高齢社会の到来、社会資本の老化などを踏まえて、消防防災分野における課題を解決するため、ICT等を活用した研究開発テーマを設定し、研究開発課題を募集します。

<救急企画室>

30.10.25	平成30年（5月から9月）の熱中症による救急搬送状況	熱中症による救急搬送人員数について、平成30年5月から9月までの確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。
30.10.25	平成30年9月の熱中症による救急搬送状況	熱中症による救急搬送人員数について、平成30年9月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

<予防課>

30.11.19	予防業務優良事例表彰の事例募集	消防庁では、各消防本部の予防業務の取組のうち他団体の模範となる優れたものについて予防業務優良事例として表彰し、広く全国に紹介することにより、予防行政の意義や重要性を広く周知し、予防部門のモチベーション向上を図るとともに、各消防本部の業務改善に資することを目的として、本日から平成31年1月18日（金）までの間、各消防本部の優れた取組事例を募集いたします。
30.11.6	平成30年秋季全国火災予防運動の実施	平成30年11月9日（金）から11月15日（木）まで『平成30年秋季全国火災予防運動』が全国各地で実施されます。

<防災課>

30.11.5	避難行動要支援者名簿の作成等に係る取組状況の調査結果等	災害対策基本法の改正により、市町村による避難行動要支援者名簿の作成、名簿情報の避難支援等関係者への提供等の規定が設けられ、平成26年4月に施行されました。 この度、平成30年6月1日現在における各市町村の取組状況について調査を実施し、結果を取りまとめましたので公表します。 また、本調査結果を受け、本日、消防庁では内閣府と連名で、各都道府県消防防災主管部長に対し、避難行動要支援者名簿の作成及び名簿情報の平常時からの提供の促進等について、通知を発出しましたので、併せて公表します。
30.10.29	11月1日に緊急地震速報の訓練を行います	11月5日の津波防災の日にちなみ、平成30年11月1日（木）に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。この度、訓練に参加する機関等を取りまとめましたのでお知らせします。

<地域防災室>

30.11.16	「地域防災力向上シンポジウムin青森2018」の開催	地域防災の担い手として期待される女性や若者をはじめとした地域住民、消防団、自主防災組織、企業、医療・福祉等各分野の連携を深め、地域の防災力を高めることを目的として、青森県青森市において「地域防災力向上シンポジウム」を開催します。
30.11.6	「地域防災力充実強化大会in徳島2018」の開催	東日本大震災を経験し、いつ発生するか予測のつかない災害からの被害を最小限にとどめるためには、地域において日頃から備えを万全にしておくことが重要です。 平成25年12月に施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を受けて、全国各地で地域防災力を充実強化する取組が進められています。 大規模災害に対処していくためには、地域住民や自主防災組織をはじめ、教育、医療・福祉関係者等を含めた各界各層の連携を強化し、地域の防災力を高めていくことが重要です。 この大会は、各地の取組の紹介などを通して、住民一人ひとりが防災への理解を深め、地域での実践的な防災活動につなげていくことを目的として、徳島県徳島市において「地域防災力充実強化大会in徳島2018」を開催します。
30.11.2	「第24回全国女性消防団員活性化滋賀大会」の開催	全国の女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動やその成果を紹介するとともに、意見交換を通じて連携を深めることにより、女性消防団員の活動をより一層活性化させることを目的として、全国女性消防団員活性化大会を滋賀県で開催します。

